

News Release

2019年10月4日
株式会社バイオパレット

各 位

塩基編集に関する基本特許 欧州で成立

株式会社バイオパレット（本社：神戸市灘区、代表取締役：村瀬祥子）は、国立大学法人神戸大学から塩基編集に関する複数の特許出願について実施許諾を受け、それらの権利化に共同で取り組んでいます。このたび、そのうち塩基編集の基本発明に関する国際特許出願（PCT/JP2015/056436）が欧州において成立し、特許付与（公告番号：3115457）がされましたので、お知らせいたします。

このたび成立した特許は、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科の西田敬二教授・近藤昭彦教授らの研究成果であるDNAの2本鎖を切断することなく1塩基のみを置換する塩基編集技術（ゲノム編集技術）について権利化を図るものです。欧州に先立ち、日本（特許番号：特許第6206893号、特許第6462069号）およびシンガポール（特許番号：11201609211V）において権利が成立しています。塩基編集は「切らないゲノム編集[®]」とも呼ばれ、精密かつ正確なゲノム編集を実現する技術として、医療、農業、微生物などの幅広い分野における応用が期待されています。

当社は、本技術を含むゲノム編集技術に関する戦略的パートナーシップとして2019年5月にBeam Therapeutics社と独占的クロスライセンス契約を締結し、マイクロバイオーム治療に注力して自社開発による事業化に取り組んでいます。また、その他分野においても外部企業とのアライアンス等を視野に入れて事業展開を進めています。

当社は、本特許権を活用してグローバルな事業開発を加速するとともに、当社が実施許諾を受けているその他の塩基編集関連の特許出願について引き続き神戸大学と共同で権利化を推進し、当社の事業基盤として強固な特許ポートフォリオの構築を行ってまいります。

<塩基編集の基本発明に関する国際特許出願>

発明の名称： 標的化したDNA配列の核酸塩基を特異的に変換するゲノム配列の改変方法及び
それに用いる分子複合体

国際出願番号： PCT/JP2015/056436

国際公開番号： WO 2015/133554

出願人： 国立大学法人神戸大学

本件に関するお問い合わせ先

株式会社バイオパレット

Email: contact@biopalette.co.jp